



模擬講義一覧

学 類	専 攻	講義 NO.	時間	会 場		担 当	講義テーマ・概要
				建物	教室		
人間発達文化学類	人間発達専攻	①	11:00 ～ 11:30	L棟	L-4	住吉 チカ	「心理学とは？」 心理学を学ぶと「人のところがわかる」と考えている人も多いと思います。しかし、実際にはそのような学問ではありません。「人内面での情報処理」を、行動・観察・調査を通して推察してゆくことが、主な研究内容になります。本講義では、「認知心理学」を例として、現代の心理学の内容や研究アプローチについて紹介します。
		②	11:45 ～ 12:15	M棟	M-1	阿内 春生	「教育を『仕組み』から考えよう—教育行政学の『きほん』の『き』」 学校だって「公共施設」。そう言われると意外ですか？公立小中学校なら税金で運営され、先生・職員は公務員、土地や建物は市町村のもの。こうしてみると、学校は立派に公の施設です。公に管理するためには「仕組み」がつきもの。学校を上手に管理・運営していくために、その教育行政学の入口をちょっとのぞいてみませんか？
		③	13:00 ～ 13:30	M棟	M-1	原野 明子	「乳幼児が健やかに育つための基盤となるものとは？～親や保育者になるために知っておきたいこと～」 保育者になるために大学では乳幼児の発達も学びます。そこでは、発達の道筋を知るだけではありません。その発達の基盤となる愛情～愛着といえます～についても考えていきます。今日は、愛着が安定したり不足したりすることで、どういった問題が生じるか等、愛着研究の一端を紹介したいと思います。
		④	13:45 ～ 14:15	L棟	L-4	森本 明	「子どもとともに創る算数」 あらためて今、小学校に出かけ、算数の授業をのぞいてみれば、きっと子どもたちの自由な発想や個性ある発見に心動かされることでしょう。子どもたちは、どのようにして算数の仕組みを発見していくのでしょうか？本講義では、子どもたちの発想や発見の一端に触れることを通して、算数を学ぶということについて考えます。
		⑤	14:25 ～ 14:55	M棟	M-2	高橋 純一	「障害理解のために：障害者への偏見はいかにつくられるか」 「障害者の権利に関する条約」が2014年に日本で批准され、今年の4月からは「障害者差別解消法」が施行されています。では、障害者への差別や偏見は解消されているのでしょうか。本講義では、障害者へのイメージ(障害観)形成における心のはたらきを取りあげ、障害者への偏見について考えてみたいと思います。
	文化探究専攻	⑥	11:00 ～ 11:30	M棟	M-1	小島 彰	「共通教育 ふくしま未来学『むらの大学』」 ふくしま未来学のメインの授業である『むらの大学』の教育目的、事業概要、学生のアクティブラーニングの様子、地域課題の発見と解決の方向性の模索などをパワーポイントで紹介することにより、津波・原発被災地の復興状況や学生の取り組みの様子を紹介します。
		⑦	13:00 ～ 13:30	M棟	M-2	中田 文憲	「次元のはざまの奇妙な図形たち」 雪の結晶やブロックリの表面など、身の回りには線とも面ともつかない複雑な図形たちがあふれています。そのような複雑な図形(フラクタル図形)をいろいろ紹介し、それらが1次元と2次元の、あるいは2次元と3次元の中間的な性質を持っていることを説明します。
		⑧	13:45 ～ 14:15	M棟	M-1	井実 充史	「『伊勢物語』と東北地方」 『伊勢物語』は初段に「むかし人は、かくいちはやきみやびをなむしける」とあることから、「みやびの文学」と言われています。「みやび」とは「みやこ風」という意味ですが、実は「みやび」という美意識は東北地方と深い関わりをもっています。『伊勢物語』の「みやび」について、当時の東北観と絡めて説き明かします。
		⑨	14:25 ～ 14:55	M棟	M-1	高木 修一	「異文化コミュニケーションを体験しよう!」 異文化コミュニケーションと聞くと、外国人とのコミュニケーションばかりが連想されるかもしれませんが。しかし、みなさんの日常の中にも異文化コミュニケーションは潜んでいるのです。そもそも異文化コミュニケーションとは何なのか、そして異文化コミュニケーションの問題を解決するにはどうすればいいのか、様々なアクティビティを通して考えてみましょう。
	スポーツ・芸術創造専攻	⑩	11:00 ～ 11:30	M棟	M-2	渡邊 晃一	「ARTとは何か?《モナ・リザ》にみる美術の解剖学」 2015年、日本テレビの「ルーブル美術館 特別番組」のなかで私は《モナ・リザ》を監修しました。本講義ではその時の《モナ・リザ》に隠された視覚像の秘密を軸に、ART(アート、美術、芸術)とは何か、今日の絵画や映像メディア表現(写真、映画、漫画、アニメーション)と絡めながら探っていきたいと思います。

学 類	専 攻	講義 NO.	時間	会 場		担 当	講義テーマ・概要
				建物	教室		
人間発達文化学類	スポーツ・芸術創造専攻	⑪	11:45 ～ 12:15	L棟	L-4	白石 豊	「空のF1世界一、室屋義秀選手に教えていること」 今年の6月に千葉で行われたレッドブルエアレース・ワールドチャンピオンシップで、福島市在住の室屋義秀選手が優勝しました。私が室屋選手から請われてメンタル面のアドバイスをするようになって6年が経ちます。今回はその一部である“プレッシャーに強くなる方法”をみなさんにお伝えします。
		⑫	12:55 ～ 13:25	音楽棟	音楽講義室(音201)	横島 浩	「原曲と編曲」 編曲とは、もともと存在する音楽作品に手を加えて異なった姿に変換させることを言います。様々な編曲がこれまで施されてきましたが、一言で「編曲」とくくってしまうには変換の幅がありすぎます。必要に迫られて楽器編成を書き直す等の実質上からの編曲であったり、または編曲者が自己の音楽性を示すため原曲に極度のアプローチを示した結果であったりします。単純な例から常識破りの例まで示しながら「編曲」の分類を試みます。
		⑬	14:25 ～ 14:55	L棟	L-4	小川 宏	「スポーツ文化と人間」 テレビや新聞ではスポーツの試合や結果、アスリートの話題が報道されており、日頃私たちはスポーツをしたり見たりして楽しんでいます。このように私たちの日常に深く浸透しているスポーツを一つの文化として捉えた時、スポーツがどのような特徴を持ち、私たちとの関係はどうなっているか、等について概説します。
行政政策学類	社会と文化専攻	①	13:45 ～ 14:15	L棟	L-1	新藤 雄介	「想いを伝えるなら、どの方法? —恋愛とメディアの親密な関係—」 友達からメッセージをもらった時に、べらべらのコピー用紙なんかじゃなくて、色のついたデザインのある紙の方が、気持ちが伝わる気がしますよね。たとえ、書いてある内容が同一だとしても、です。本講義では、恋愛のありふれた場面に潜む深い意味を、メディア論の視点から学問的に捉え返していきます。
	法学専攻	②	13:45 ～ 14:15	M棟	M-21	上床 悠	「公共施設の利用と管理に関するルール」 公立の体育館、図書館、あるいは海水浴場などをレクリエーション目的で利用したいという時、利用者はあるルールに従わなければなりません。本講義では公共施設の利用のルールを手掛かりに、法が社会においてどのような機能を持つかということについて考察します。
	地域と行政専攻	③	14:25 ～ 14:55	M棟	M-21	岩崎由美子	「農山村地域の再生」 “地方消滅”、“限界集落”など農山村地域をめぐる問題は数多く指摘されていますが、その一方で、地域住民が外部の支援者とのネットワークを豊かに育みながら、地域づくりに取り組む試みも各地に生まれています。大学生が活躍する事例も増えてきました。本講義では、これらの動きに焦点を当て、農山村地域再生の方向性について検討します。
経済経営学類	企業経営専攻	①	11:00 ～ 11:30	L棟	L-2	根建 晶寛	「近年の経済状況からみるわが国企業の現状」 昨年、リーマンショックや英国のEU離脱といった金融市場の動向に大きな影響を与える出来事があり、わが国企業、特に中小企業の倒産も相次いでいます。最近の日本実態を振り返り、学生さんがどのように将来、社会に貢献できるか示唆を与えていきます。
	国際地域経済専攻	②	9:50 ～ 10:15	M棟	M-4	吉高神 明	「3.11からの被災地の復興とアジアにおける新しいビジネス：国際公共政策論の観点から」 今、アジアが大きな転換期を迎えています。本講義では、アジアにおける最新ビジネス事情を紹介しながら、これらのビジネスが東日本大震災・福島第一原発事故の被災地の復興にとってどのような意義を持っているのかを考えてみたいと思います。 キーワード:「アベノミクス」、「官民連携」、「マネタイズ(収益事業化)」
	経済分析専攻	③	13:45 ～ 14:15	L棟	L-2	福田 慎	「日本経済の動きとその裏にある理論—マクロ経済学を学ぶということ」 マクロ経済学とは一国の経済を考える学問です。国内経済の安定化は国民の生活に直結する問題と言えます。マクロ経済学では国内経済の安定化を図るための政策を理論的に検討していますが、本講義ではマクロ経済学の進化について簡単に紹介したいと思います。
共生システム理工学類	環境システムマネジメント専攻	—	11:45 ～ 12:15	L棟	L-3	吉田 龍平	「去年の冬はなぜ暖かい?～福島と南米の親密な関係～」 県内のスキー場オープンが例年よりも遅くなり、一部では年末にオープンとなりました。暖冬の原因の一つとして知られているのが南米の海が存在です。なぜ山にあるスキー場と遠く離れた海がつながるのか、南米発・福島着の空の旅について解説します。